

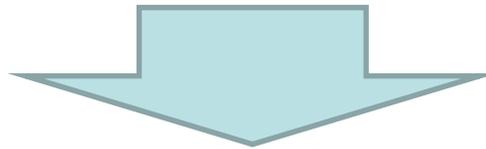
新技術と整備について

資料3

自動車の安全・環境性能向上の必要性



情報処理技術等の新技術の利用、
HV/EVの普及拡大により、
整備作業でのOBD利用が重要に



一級自動車整備士制度(平成14年度～)、
整備主任者研修
における対応

さらに

整備事業の技術的基盤強化
が課題

自動車の新技術の普及に対応した整備事業の基盤強化

自動車の新技術の普及

OBD（車載式故障診断機）搭載車、ハイブリッド、電気自動車、ASV、

環境整備

人材育成

自動車メーカーからの整備情報の提供

○欧米規定並の法令整備を検討。

スキャンツールの普及

○汎用スキャンツール普及検討会を設置し、汎用ツールの標準仕様や普及促進について検討を開始予定。
○H22年度末とりまとめを目指す。

研修・講習の充実

○整備情報・機器の活用促進・HV、EVへの対応のための整備事業者に対する研修の充実。

資格制度の活用

○新技術の普及状況等に応じ、今後検討。